

ふくふく あそびマルシェ プロジェクト

～福島の子どもたちに のびのび遊べる夏休みを！～



福島県の現状と課題

- 東日本大震災を機に、福島県では震災、津波、原発事故の多重災害に見舞われました。
- 国や電力会社からの経済補償は、生活地域や家屋の被災状況、家族構成、県外避難の有無などにより格差を生じさせています。
- あらゆる格差の影響で、家族や親族、地域コミュニティで分断が生じています。
- 今もなお、国の放射線安全基準（震災以前は年間1ミリシーベルト、震災以降年間20ミリシーベルト）を越える環境の中で生活をしています。
- 福島県に住む18歳以下の子どもたちを対象に行われた甲状腺検査では、20.0mm～3.0mmの「のう胞」が認められた子どもが全体の43%にも及びました。（平成24年9月現在）

目的

- ・ 短期間でも放射能の影響が少なく、制約のない環境で過ごしてもらう。
- ・ 震災以前は「あたり前の事」であった自然の中で遊ぶ機会を提供する。
- ・ 保護者も子どもも日頃発する事ができない想いを吐露できる機会を提供する。



これからの生活と向き合い、方向性を考える機会を創出する。



内 容

保養企画の開催

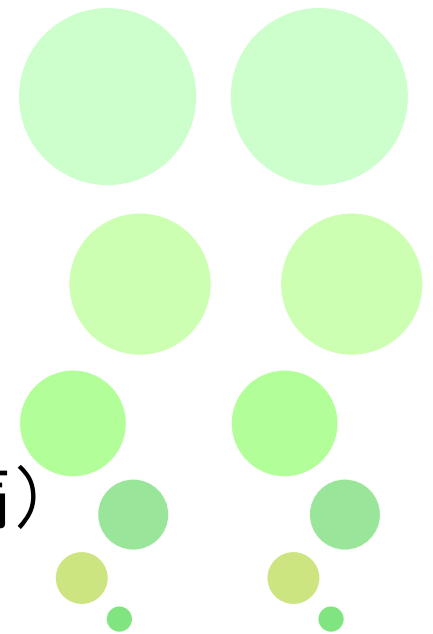
日 程： 2013年8月1日（木）～8月7日（水）6泊7日

対象者： 福島県いわき市・浪江町の
親子5世帯（最大15名）

参加費： 大人 20,000円

子ども 5,000円

（子ども対象：小学生～18歳未満）



スケジュール

8/1
(木)

- 福島県出発→福岡県到着→太宰府市到着
- 歓迎会(竹パン作り、福岡の郷土料理もてなし)
- ≪太宰府山かげ亭 宿泊≫

8/2
(金)

- 音楽とアートのワークショップ(地元の子ども達との交流、昔あそび体験、自然工作、木鸞彫り体験、いろいろな楽器で曲を合奏 など)
- Yahoo!ドームで野球観戦
- ≪太宰府山かげ亭 宿泊≫

8/3
(土)

- うきは市田籠にて自然あそび(川遊び、魚釣り、そうめん流し など)
- ≪うきは市田籠 農家民宿「馬場」 宿泊≫

スケジュール

8/4
(日)

- うきは市田籠にて棚田の復興支援活動 など
- ≪糸島市内 宿泊≫

8/5
(月)

- 糸島の自然で遊ぼう(海水浴、糸島手造りソーセージ工房)
- ≪太宰府市内 宿泊≫

8/6
(火)

- 自由行動、太宰府市内散策
- ≪太宰府市内宿泊≫

8/7
(火)

- 太宰府市出発→福岡県出発→福島県到着

予 算

【総支出】

説明会交通費	136,000円
参加者交通費	900,000円
移動交通費	280,000円
宿泊費	270,000円
体験学習資材費	135,000円
図書印刷費	15,000円
運営経費	10,000円
保険代	3,920円
総 額	1,749,920円

【総収入】

自己資金	159,920円
募金・寄付金	100,000円
参加費	150,000円
助成金(予定)	1,000,000円
協賛金	340,000円
総 額	1,749,920円

おわりに

ふくふく あそびマルシェ実行委員会では、今後も長期的に福島県の復興の為に福岡からできることを模索し続けていきたいと考えております。

ひとりひとりができることは小さくても、沢山の小さな想いが集まる事で、被災された方々のこれからの生活を後押しする事ができる、今回の保養企画は、そのかたちの第一歩です。今回の企画及び今後の実行委員会の取り組みに、何卒ご協力とご賛同を謹んでお願い申し上げます。

平成25年2月

ふくふく あそびマルシェ実行委員会
実行委員長 八尋 さおり

ふくふく あそびマルシェ実行委員会

いとしま法律事務所・ウォローズ福岡・おおた歯科クリニック・Soundbird
NPO法人太宰府アートのたね・東日本大震災被災者支援ふくおか市民ネットワーク

後援 太宰府市・太宰府市教育委員会

協力 チーム飯塚・NPO法人新町なみえ・NPO法人福岡被災地前進支援
株式会社 毎日メディアクリエイツセーフティサポート事業部